

山田正人様

朝晩涼くなり、秋の気配を感じる季節となりました。

今回は山田様はじめ多くの方々より、気持ちの込められた医療用品の贈り物をいただき、心より感謝いたします。

新型コロナウイルスにより、日常生活の変化を余儀なくされそれぞれが大変な思いをしている中、私たち医療者に向け「何かをしたい」という気持ちを行動に起こし、その思いを込めたマスクなどお届けいただき、本当に～本当にありがとうございました。

届けられた箱を開けると、一枚一枚丁寧に個包装されたサージカルマスク、色とりどりの紐をつけた手作りフェイスシールド、袖口の工夫を施したガウン、そしてゴーグル～～それぞれの品を手にとるとみなさまの気持ちが伝わり、本当にうれしく胸がいっぱいになりました。そして何よりもみなさまからのメッセージがうれしく、作成している姿が目に見え、心が自然とわくわくしてきました。

いただいた作業風景の写真やメッセージをファイリングし、職員みなに届けられるよう早々に回覧しています。

2月から、新型コロナウイルスという得体のしれない相手に向かい、医療者として持ち得ている知識や技術をどのように駆使し対応するか考え日々仕事に邁進してきました。

また、通常であれば滞りなく入荷され当たり前のように使用していたマスクやガウン、そして手指消毒剤などが手に入らなくなり、未知数の相手にどのように感染を食い止めるかなど必死に考え対応してきました。いつまで続くのかわからない状況の中、みなさまはじめ多くの方々からの医療者に向けた応援は、いつも元気の源になっていました。

そして、このようなみなさまの気持ちをいただくことで「医療者である」という誇りを改めて感じ、この先もこの仕事を大切にいつまでも働き続けたいと思いました。

この先、いつまで続くのかわからぬコロナウイルスという未知の相手と共に、どのように対峙し生活していくのか一人ひとり真剣に考え取り組んでいくことがとても大切と考えます。

これから、どのようなことが起きてくるのかわかりませんが、何事もチャンスと捉え前向きに取り組んで行こうと思っています。

みなさまも、生活の変化を求められている中大変とは思いますが、体調に留意し元気で過ごしてください。

社会福祉法人 浅草寺病院
看護部部长 東 留利子